



にじのはし幼稚園 園だより



令和4年12月号
港区立にじのはし幼稚園
園長 石川典子

早いもので今年もいよいよ最後の月となりました。2学期の園生活も残りわずかですが、子どもたちの成長や年末を感じる『にじっこ劇場』や『もちつき』などの楽しい行事があります。寒さが増しますが、薄着で元気に体を動かし丈夫な体作りをし、2学期を終えることができるようご協力をお願いいたします。

本園は、幼児の主体性を重視した保育の中で、幼児に感動体験を積み重ね、豊かな感性や創造性、思考力を育てています。

教員の日常的な読み聞かせやパネルシアター等や、外部講師による「お話会」を開催し、
幼児が多様な題材や語りに触れることができるようにしています。
幼児は、絵本や物語に親しみ、言葉に興味や関心をもち、想像する楽しさを味わいます。
(幼稚園経営計画 4 経営の重点の今年度の主な取り組み より)

幼児は絵本や物語を見たり聞いたりしたことを、自分の経験と結び付けながら、想像したり表現したりして楽しめます。幼稚園で先生や友達と一緒に見たり聞いたりするときには、皆で同じ世界を共有する楽しさや心を通わせる一体感などを感じます。

幼稚園では先生や友達の興味や関心のある題材を選ぶため、幅が広がります。家庭では触れない内容に触れることで、幼児は新しい世界に興味や関心を広げていきます。

絵本や物語、紙芝居を通して、自分の生活している世界しか知らない幼児は、様々なことを想像する楽しみと出会います。登場人物になりきることにより、今まで知らなかった未知の世界に出会うことができ、想像上の世界に思いを巡らします。「なぜ」「どうして」と不思議さを感じたり、「わくわく」「どきどき」して驚いたり、感動したりします。また、悲しみや悔しさなど様々な気持ちに触れ、他者の痛みや思いを知る機会にもなります。

幼児期には絵本や物語の世界に浸る体験が大切です。幼児は様々なイメージを膨らませながら物語の世界へと入り込み、自己の内的世界を広げていきます。言葉が豊かになり、表現力、思考力、想像力、コミュニケーション力が育まれます。

『にじっこ劇場』では、先生や友達と一緒にお話の世界を楽しみながら、役になりきって言葉を言ったり、生き生きと動いたりする姿をご覧ください。幼児が物語の登場人物の思いに気付き、自分なりに様々な表現して楽しんだり、幼児同士の表現が影響し合い、より一層豊かな表現になっていることを感じていただけることと思います。

ご家庭でも親子でお話の世界を楽しんでいますか。おうちの方の温かい膝の上で絵本の読んでもらおうと、お子さんは「愛されている」と感じます。お子さんと絵本の話について感動を分かち合い、共に楽しさやお話の世界を感じ合うと「親子の共通体験」となります。絵本に描かれている内容をお子さんが自分の中に取り入れると、お子さんが自分自身を素晴らしいと思える、自分をポジティブに認めることができる「自尊体験」につながることもあります。親子だからこそその読み聞かせでの体験です。

今学期もご理解・ご協力ありがとうございました。よい年末年始をお過ごしください。